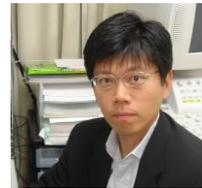




気管支喘息をよりよくコントロールしましょう ～救急搬送や突然死を防ぐために～



医療法人社団 有晃会 理事長 船本 全信

気管支喘息ではアレルギー反応や細菌・ウイルス感染等による気管支の炎症が慢性化し、気道の敏感さが亢進し気道狭窄を繰り返すため、発作的な喘鳴(ぜんめい:喉のヒューヒューという高い音)・咳などの症状を呈します。喘息発作時にはこれらの症状が特に激しく発現し、喘息死に至ることもあり注意が必要です。死亡者の約半数は、重度の発作をいつもの様な軽い発作だと思い適切な治療受けなかった事が原因であると言われてしています。

我が国では、小児の5～7%、大人の3～5%が罹患しており、小児喘息は男子に多く(男:女=1～1.5:1)、そのほとんどはダニやハウスダストアレルギーが原因(アトピー型)です。大人の喘息は、男女比ほぼ1対1で、その60～80%は成人発症で、原因が明確に特定できないことも多いです(非アトピー型)。小児喘息では、小学校高学年～大学の時期に発作がなくなる時期があり、20～30歳代に突如として喘息が再発することがあります。その兆候として入浴や運動した時に息切れ(運動誘発喘息)や風邪の後に咳が8週間以上続くなど認められた場合等です。

気管支喘息の診断は、著明な呼吸困難や聴診上の呼吸音から明らかなこともあります。はっきりしない場合、呼吸機能検査にて気道閉塞の可逆性(気管支拡張薬吸入前後で1秒量が200ml以上かつ12%以上改善)を証明する必要があります。

薬物治療としては、大きく分けて「長期管理薬」と「発作治療薬(メプチン・サルタノール等)」があります。発作が起きない様に予防的に長期管理薬を使用し、急性発作が起きた時に発作治療薬で発作を止めます。発作治療薬を使う頻度が多いほど喘息の状態は悪いと考えられ、長期管理薬をいかに上手に用いて発作治療薬の使用量を抑えるかということが治療目標となります。かつては発作治療薬を使いすぎると突然死を来すと考えられていましたが、実は喘息コントロールが不良だったためと再認識されました。長期管理薬では吸入ステロイド薬がガイドラインで推奨されている第一選択薬であり、これにより気管支喘息の本体である気道の炎症を抑えます。重症度に応じて吸入ステロイドの増量・経口ステロイド・気管支拡張薬である長時間作用型 β_2 刺激薬(吸入薬・貼り薬)・抗アレルギー薬等を併用します。吸入ステロイドは内服ステロイドと異なり、全身性の副作用(高血圧、肥満、骨粗鬆症、身長抑制など)は殆どない。喘息死や病院への救急搬送の頻度を著明に減少させました。そんな魔法のお薬である吸入ステロイドも、副作用として声枯れ・口腔の痛み等あり、予防のため「吸入後にしっかりとうがい」をしておかなければなりません。喘息の症状がマシになってもそれは治ったのではなく、「山火事」のように火が消えてもくすぶり続けて隙を見せたら再燃しうるのです。きめ細やかに長期管理薬を継続しましょう。

最近 one airway one disease という考え方が提唱されています。鼻や副鼻腔から喉・気管支までの粘膜は一続き(one airway)で、喘息とアレルギー性鼻炎や副鼻腔炎が実は一連の疾患(one disease)ではないかという考えです。現実、アレルギー性鼻炎や花粉症と喘息の合併は多く、喘息症状の季節性変化が鼻症状によってもたらされている事も少なくないのです。

咳は肺から起きるだけではないのです。鼻や胃(食道)が悪くても咳は出ます。些細な変化でも是非ご相談を!

★6月1日より午後の診察時間が変更になりました!!

診療時間 午前 9:00～12:00
午後 17:00～19:00 (受付は診療開始30分前より行っております。)

◎ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。



6月の予定

エコー検査	井上 Dr.	1 2(土) ・ 2 6(土)
	杉山 Dr.	4(金) ・ 1 1(金) ・ 1 8(金) ・ 2 5(金)
専門外来(血液)	玉置 Dr.	9(水) ・ 2 3(水)
専門外来(神経)	藤本 Dr.	5(土) ・ 1 9(土)
食事相談	宮本管理栄養士	1 4(月) ・ 2 8(月)



7月の予定

エコー検査	井上 Dr.	3(土) ・ 1 7(土)
	杉山 Dr.	2(金) ・ 9(金) ・ 1 6(金) ・ 2 3(金) ・ 3 0(金)
専門外来(血液)	玉置 Dr.	1 4(水) ・ 2 8(水)
専門外来(神経)	藤本 Dr.	3(土) ・ 1 7(土) ・ 3 1(土)
食事相談	宮本管理栄養士	1 2(月) ・ 2 6(月)

皆様 こんにちは！

看護師の澤田です

ふなもとクリニックで仕事させて頂くようになり早いもので2年半になりました。

九州の看護学校を卒業後、初めての就職で関西に来てからは今年でちょうど丸10年で月日の早さをしみじみ感じているところです。看護師としての経験は、まだまだ未熟で反省する事は多々ありますが、ふなもとクリニックでの仕事は何と言ってもスタッフ皆が明るく、それぞれの個性も調和されているようで一緒に働く事がとにかく楽しいです。

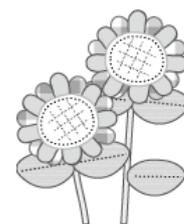
話は変わりますが先日のゴールデンウィーク皆様はどのように過ごされましたか？

私は普段から、あちこち行動するタイプではないのですが・・・1泊だけ有馬温泉でのんびり過ごしました。温泉はもちろん満喫できたのですが、たまたま行ったポートアイランドで花鳥園という施設を見つけ寄ってきました。珍しい鳥が沢山で直接、触れ合ったり時間帯によっては鳥の飛行ショーなどもあるようです。びっくりしたのはフクロウも色々な種類がある事でクリニックのシンボルマークだけあり見入ってしまいました。他にも綺麗な花の展示も見応えあり思いがけず入ったわりには、なかなか楽しめた施設でした。子供さん連れやお花の好きな方にもいいかもしれません。皆様もおすすめスポットがあればぜひ教えて下さい。

神戸花鳥園

〒650-0047 神戸市中央区港島南町 7-1-9 TEL 078-302-8899

開園時間 9:30~17:30 (年中無休)



最近になり少しずつ患者様にも顔を覚えて頂くようになり感謝しています。

外来という短い関わりの中ですが業務の忙しさに流されないよう笑顔と丁寧な対応を心がけたいと思いますので、今後とも、ふなもとクリニックの一員としてよろしくお願い致します。



忘れ物にご注意



傘・防寒具・鍵等の落とし物や忘れ物が多数ございます。受付にて2週間お預かり致しますが、お申し付けのない場合は、誠に勝手ながら処分させていただきます。何卒了承ください。

診察の順番について

送迎(火・木)、エコー検査の時(水・金・土)、及び急患の方がおられる時につきましては、診察室にお呼びする順序が入れ替わる場合がございます。

お待ち頂いている方には誠に申し訳ございませんが、予めご了承くださいませよう、よろしくお願い致します。